

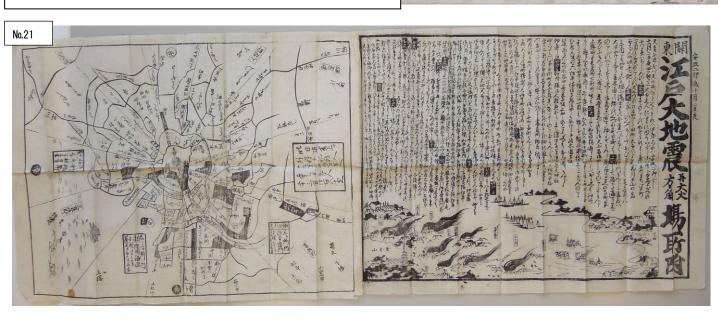
展示解説

文化財〈古文書〉展示

一挙公開!幕末のかわら版



No.10 No.28 (第 3 紙)



No.21

瓦版 関東江戸大地震 并 大火方角場所附

安政 2 (1855) 年 10 月 2 日発生 森島國男家文書 C2303

安政 2 (1855) 年 10 月、江戸の町を直下型の大地震が襲いました。この瓦版は 2 枚続きで、右側に は江戸各地の被害状況を文章で報じ、左側には江戸城を中心とした略地図を描いています。

安政江戸大地震では、地震の揺れによる建物の倒壊だけでなく、引火による火災も各地で発生し、犠牲者を増やしました。【写真は表紙参照】

No.22

瓦版 安政二卯十月二日大地震附類焼場所

安政 2 (1855) 年 10 月 2 日発生 森島國男家文書 C2301 「二荒山」は徳川家康を祀る日光東照宮のを祀る日光東照宮のは、二度の地震で荒れて、一度の地震で荒れば揺らぐことなく磐は揺らぐことなく磐けています。

御代ハうごかじ ふたゝひとだに 一 二荒山 一 二荒山

江戸城上部の和歌



安政江戸地震の被害状況を江戸の地図と文章で示したものです。赤色の区画が地震後の火災で類焼した場所です。

悲惨な被害の実態とは裏腹に、色彩が美しく 残る江戸図です。

★小ネタ★

右はNo.22 の袋。

発行元「雷爺堂」、印「賤磨」とあり、地震・雷・火事・親父、「鎮まろ」、まさに「オヤジギャグ」です…。



安政江戸地震記録

[安政 2 (1855) 年] 10月11日 森島國男家文書 C2308

思ふ心にて、無中ニ雨戸をけはなし、馳出候ものハ、 町家をすミやかに打潰シ候数者、幾万とも難計、 是にはさまれ潰死之もの、数万とも未数知、又者右 命者助かり、逃出兼候もの者、 音者天地もくつがへすばかりにて、此世が滅すかと 之工風もなく、助け賜へとくく云声をあけ候得と 方二而火事哉くく云声くくく 天井を抜破り、 落候得共、梁桁之間に間合よく助命之ものも数多有 も、当りに人も無之分者、其儘焼死候分も有之よし、 入国以来之地震、 者十月 承り候内ニも右間合にて、四方をなて探り、 御大小名、 月 右刻限頃一時二震動、 屋根裏板瓦を抜破り候内に、四方八 江戸表ニ而者稀成前代未聞之事 御籏本始、 御府内大地 梁・鴨居・桁等落、 堂塔・寺院・社 高けれハ仕様模様 逃退候間も無之、



筆跡などから祝園村の森島清右衛門が、出張中の江戸で遭遇した安政江戸地震の被害状況を郷里に報 告するため書き記した文書と判断されます。

清右衛門は、隅田川東岸の向島の小梅村(現在の東京スカイツリー付近)に所在した旗本天野氏の隠 居宅で地震に遭いました。そのため、向島周辺の被害が特に詳しく書き上げられています。地震発生か ら9日後の記述です。

No.24

地震御番所より被仰出候風怪状

森島國男家文書 C2295

地震は地中に住む 大鯰が動くと発生 するので、鹿島神宮 (茨城県) の神が鯰 を要石で押さえつ けて地震を防いでい る――このよく知ら れた伝承を踏まえて、 鯰と地震をモチーフ にした「鯰経」とよ

嘉永 7(1854)年 6 月

落之底江蟄居申渡シ侯 重々不届に付、最早慮簡にも不及、亦々改而 茂可致心底と相見へ、其癖今にゆり不止ズ、 少、其上土中より泥水を吹出シ、是全泥海 家夥敷ゆり潰し、老若男女之不差別、死亡不 動被致、其損亡幾許ソ、別而古京奈良、郡 [陸]之神江急度御預ケ、 国中、古市等者格別之大地震ニ而、民 以来者金輪遠(奈)

々地震番所江可相触候

嘉永七年寅六月

出雲之神惣代とシて

八幡之神是ヲ申渡ス者也

伊勢之神於瓢箪所にヲイ而申渡シ之旨

河内・大和・伊賀・伊勢・美濃・越前辺迄騒 城内等茂不恐、山城国中者申に不及、近 付候之処、亦候此度去ル十四日之夜中ニ及、 語道断之致シ方、仍而之麻(鹿)嶋江蟄居被仰

八民之寝込江仕懸ケ、莫太之大地震を企、御

および、松代・飯山の両城をゆり潰し、大地 震ヲ初メ、近年ハ度々所々ゆり動し、殊に弘 化四年寅三月廿四日之夜ハ、信濃国を乱妨に 既に蒲焼ニ茂可申付之処、格別之御憐愍 地震等も蟄居可在筈之処、 高山を崩し、 麻(鹿)嶋常陸之神江配下申付置候得へ 地震御番所より 往古より鰻屋之店先江横行致し候 大川之流を堰止、正に言 被仰出候風怪状 先年洛中之地

ばれる瓦版が、安政の大地震後、大流行しました。展示した文書も同じ趣旨のパロディーです。

〈鰻屋に横行を働いた鯰は、本来蒲焼の刑に処すべきであったが、御慈悲を蒙り鹿島の神に身柄を預けられていた。にもかかわらず、またも鯰が大地震を企てたため、再度鹿島の神に身柄を預け、奈落の底へ謹慎を申し付ける。〉

<参考図版 3>【写真左】

瓦版 鯰絵 地震鯰の取り調べ

国立国会図書館 蔵

<参考図版 4>【写真右】

瓦版 鯰絵 鯰に御札を貼る要石

国立国会図書館 蔵





*参考図版3・4は、国立国会図書館ホームページのデジタルコレクションで閲覧できます。